

# 成蹊大学〈2018年度 前期公開講座〉

受講無料  
申し込み不要

第1回 5月26日(土)

## 村上春樹にみる中国と日中戦争

ミヤウキ トシフミ  
宮脇 俊文 経済学部教授

村上春樹の作品には中国を扱った作品が多く見られます。『ねじまき鳥クロニクル』や『騎士団長殺し』、その他短編「トニー滝谷」などに描かれた日本と中国の歴史的関係を考察します。

第2回 6月2日(土)

## 中国における環境・エネルギー問題の現状と対策技術

サカイ ユウジ 工学院大学  
酒井 裕司 先進工学部環境化学科准教授

中国の環境問題とエネルギー事情の現状を解説し、演者がこれまで取り組んできた大気汚染、砂漠化、食料問題の同時解決方法の実践例から、今後の対策技術について考えます。

第3回 6月30日(土)

## 中国からみたモンゴルと モンゴルからみた中国

フフバートル 昭和女子大学  
人間社会学部現代教養学科教授

万里の長城は何のためにあったのか。なぜモンゴル国と内モンゴルがあるのか。モンゴル独立をめぐる中国とモンゴルの関係を画像や動画を使ってわかりやすく説明します。

第4回 7月7日(土)

## 「盧溝橋」への道

ミツ タ ツヨシ  
光田 剛 法学部教授

1937年7月7日、「盧溝橋」での衝突から日中の全面戦争が始まったとされます。この事件に至る道筋を、おもに中国の現地に視点を置いて、あらためて見直してみたいと思います。

[統一テーマ]

# 中国

昔から日本とも関わりの深い中国は、近年、再びその影響力を増大させつつあります。2018年度前期公開講座では、歴史、文学、環境・エネルギー、国際関係など多様な観点から中国について考えたいと思います。

SEIKAI 成蹊大学

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1  
<http://www.seikei.ac.jp/university/index.html>

お問い合わせ 成蹊大学庶務運営課 TEL:0422-37-3535

■時間:午前10時30分～12時10分

■会場:成蹊大学6号館401教室

■定員:300名(先着順)

■アクセス:吉祥寺駅下車、北口バスのりば①・②番より関東バスで約5分「成蹊学園前」下車

※講演は各回で完結しますので、ご希望の回だけの受講もできます。

※学内駐車場のご利用はできません。自動車での来校を控えていただくか、お近くのパーキングをご利用ください。